

平成26年度 北海道伊達緑丘高等学校「学校評価アンケート」におけるご意見ご要望への回答

2015/3/31 北海道伊達緑丘高等学校 学校評価委員会

領域	要望等の概要	回 答 内 容
学習指導	〔教育課程と授業〕	
	○ 教育課程で理系選択に地歴B科目を履修できるようにしてほしいとの要望について	本校の教育課程では、理系選択者の2・3年次において、理科科目の配置を優先しているため、現状では地歴科目のB科目を設置することは法的な標準単位数上困難（公民科目は可能）であるのが現状です。今後、理系選択者の地歴Bの履修（地歴Bでの進学受験希望）の要望が多くなれば教育課程編成において協議・検討していきます。進学受験とは別に発展的な学習をしたいという場合は、講習への参加や添削指導を受けることができます。
	○ 進学希望者に向けた授業体制の工夫（進学クラスを設けるなど）など進学に向けた指導に力をいれてほしいとの要望について	多岐にわたる進路希望があり、現状では進学クラスを設けての進学指導は困難と考えています。進学に特化した指導については、放課後・長期休業中に実施している進学講習、添削指導にて個々に発展・強化していますので是非それらの機会を活用してください。
	○ 授業においてタブレットを使用してほしいとの要望について	全生徒にタブレットなどの電子端末を持たせたることはできませんが、必要や目的に応じ教員側での利用で授業を進めていくこともあります。
進路指導	〔進路学習と講習・課題添削など〕	
	○ 生徒への進路説明会等の実施について	本校では「総合的な学習の時間」におけるキャリア教育において、1・2年生向けに「進路に関する講演会」、「分野別進路説明会」、1年生向けに「卒業生進路講話」を実施しています。「進路に関する講演会」では外部講師招き、進学・就職・進路に関する情報提供を行っています。今後も資料を配るだけではなく、進路に関わる必要な情報提供に工夫していきます。模試（含スタディーサポート）や講習の案内時、進路調査や進路行事前後の個人面談等の際にも情報提供に努めていきます。
	○ 生徒の1年次での上級学校のオープンキャンパス参加の義務化について	本校では、部局活動との兼ね合いも考慮し1年次に、進路意識・目標の明確化、オープンキャンパス等への参加意義と留意点の理解などを指導した上で、進学希望者に2年次の夏期休業期間を利用したオープンキャンパスへの参加とその後のレポート提出を義務づけています。生徒によっては、自分の進路をどうしたらよいか明確にできていない場合も少なからずあることも実情で、だからこそ1年次から義務づけるという観点も有意義と考えますので、今後検討課題とさせていただきたいと思います。1年次から明確な意識を持って自主的に参加されることについては、是非行ってほしいと思っています。
	○ 講習を基礎的な内容にしてほしい・充実したものにしてほしいとの要望について	講習の内容や課題については、生徒の習熟度に合わせて工夫・実施しています。個々の進路目標や意欲により、追加の課題等を希望する場合は、ご遠慮なく教科担任に相談ください。基礎・発展両面での個別課題や添削など対応いたしますので担任、教科担、進路指導部にご相談ください。
生活指導	〔生き方・性に関する教育〕	
	○ 生徒の心に響く性教育を外部講師をよんで実施して欲しいほしいとの要望について	1年生と3年生とで外部講師を招き、講演会を実施しています。生徒には好評ですが、さらによりよい機会とするための講師等の情報があれば提供していただけると幸いです。
	〔郊外生活の指導〕	
	○ 校外における生徒の身だしなみについて	定期的に、登下校時の交通安全指導やJR利用指導時にも校外指導を行っており、今後も継続していきます。 また、登下校時の本校生の振る舞いについて、ご意見をいただくこともあり、その都度、全体・該当生徒への交通安全指導・啓発に取り組んでいきます。
	○ アルバイトに制限を強化してほしいとの要望について	アルバイトについては許可制を取っており、就業時間・期間、職種に制限を設けて許可しています。
	○ 進学が決定した生徒の冬休みからの自動車学校通学を認めてほしいとの要望について	指導上、生徒の安全面、学習面、学校生活を最優先に据え、進学決定生徒については家庭学習期間からの通学にしています。ご理解ください。
	○ ボードゲームなど頭を使うゲームができる部活をつくってほしいとの要望について	学校はボードゲームに頭脳を使うという場ではないと考えています。

清掃・美化	〔校舎清掃〕	
	○ 校舎の美化・清掃をしっかりとしてほしいとの要望について	経年劣化する部分については、適宜修繕・交換等を行っています。業者による清掃やワックス施工も実施し美化に努めていますが、放課後に行われる清掃活動をしっかりと行うことに加え、使用の際、その都度するという取組もしっかり行っていきます。
設備・購買	〔校舎の暖房〕	
	○ 適切な暖房・教室出入ドア通気溝密閉のについて	教室や特別教室は、20℃を下回らないよう温度管理をしています。生徒玄関のロビーに温風ストーブを設置し、廊下の温度を上げる努力をしています。また、教室ドアについている通気のための溝は空気環境保持のためふさぐことはできません。廊下の片側が窓であるという校舎の構造上、教室と同様に気温を上げることは困難な実情ですが、個々の要望については、実態を調査しながら各関係とも連携して、改善できるものは対応していきます。
	〔購買・飲料自販機〕	
	○ 冬季に温かい飲物を自動販売機のメニューに加えてほしいとの要望について	業者とも検討しましたが、購買（自動販売機も含）での取扱い商品は消費期限を越えて売れ残ってしまった場合には、業者負担となります。業者としても売れ行きが不安定な品目は取り扱うことが困難となります。「温かい飲みもの」については、消費期限が2週間と短く、全ての温飲料が2週間以内に消費されないため、導入は困難です。
学級指導	〔通学列車について〕	
	○ 稀府駅8：10着のJR利用での登校を認めてほしいとの要望について	JRのダイヤ編成により8：10稀府駅着の列車ができましたが、本校の始業時刻と稀府駅からの学校までの所要時間に「安全性、適度な余裕」等を考えると、8：10着の列車の利用は適切ではないと考えています。JR利用生徒の大部分がその列車を利用していいとなると、乗降にかかる時間、徒歩の時間に余裕がありません。 不可抗力（公共交通機関の遅延、自然災害）による生徒の遅刻については、基本的に遅刻の扱いにはしておりませんが、事前に適切な列車があるにもかかわらず、定刻にぎりぎり分かる列車を利用することは不可抗力ととらえられません。
	○ 考査範囲をしっかりと掲示してほしいとの要望について	考査範囲の掲示は各教科の裁量で行われています。授業において必ず連絡を行っておりますが全て掲示されるというわけではありません。生徒各自が確認する習慣を身につけてください。
その他	〔学校からの情報提供〕	
	○ 担任と保護者の面談について	面談については、学校からの面談実施案内時期以外でも随時対応いたしております。ご遠慮なく相談ください。 保護者懇談を実施していますが、時期にとらわれず個々に懇談の機会を設けることができます。
	○ 学級通信を発行してほしいという要望について	学級通信については、担任個々の判断で発行しています。 学校全体に関わる情報発信として「緑丘トピックス」（今年度毎月発行）、「緑丘高だより」（年3号PTA作成）、をお子様を通じ、全家庭に配付しており、本校生の活動報告としております。また、学年通信を定期的に発行しており、学年全体に関わる連絡等については情報共有できるよう努めています。その他、学業成績、進路希望調査等かなりの量の配布物をご家庭に配布されております。なおwebでの学校HPにおいても本校について多岐にわたり閲覧も可能です。 個別の諸連絡については、毎日SHRにて、口頭、必要により書面で行っています。生徒自身を通じ、確実に連絡をつたえる力も社会的成長の素養と考えています。
	○ PTA等保護者の活動について	4月の定期総会を土曜日に実施し、参加者が増えるよう努めております。活動のひとつでもあるPTAの広報誌については、年間3号を作成・発行し、お子様を通じ各家庭に配付し、Pの取組や学校行事の様子、生徒の活躍、全体に関わる情報をタイムリーに伝えられるよう工夫しております。 学校行事時等での保護者の支援・協力募集についても、役員以外にも、多くの保護者の参加をいただけるようご案内しておます。昨今の社会状況から仕事を休んで参加するということが困難だという声もお聞きますので、今後できるだけその部分で負担にならないよう企画・案内をする努力をしています。